

ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第 17 号 2011 年 7 月発行



7 月となりましたが、日本はちょうど梅雨時で気温も湿度も高く、気温が 30°C を超えると非常に蒸し暑く感じます。今年は節電が必要ですが、熱帯夜ともなると夜もエアコンをつけたくなる季節です。

逆にインドネシアは乾季で、インドネシア人にとっては、朝晩は寒い(日本であれば夏の北海道)らしいのですが、日本人にとっては朝晩の気温は 22°C 前後で湿度も低く、夜もエアコンはあまり必要なく、非常に過ごしやすい季節です。海や山にも囲まれていて、農地が広がる緑の多いロンボク島やバリ島。乾季は日中でも日陰はさわやかで、朝晩は涼しく、訪問するには最高の季節といえます。

さて、海のリゾートとしてのロンボク島は、バリ島に比べてあまり高級リゾートがないように思われがちですが、実はバリにも負けない、静かな高級リゾート・ホテルがいくつか存在しています。それは、ロンボク島の北西海岸沿い、ロンボク・ゴルフ廣済堂 CC がある右隣りの半島にある高級ブティック・ホテルの Oberoi Lombok と、ロンボク島の南海岸にある有名なサーフィンの村クタにあるホテル Novotel Lombok です。もちろん、少しにぎやかなスンギギにも高級リゾートの Pool Villa Club があります。



Novotel Lombo のエントランス



海岸に面した家族用コテージ

インドネシアで高級ホテルといつても、1 人当たりの費用でみればせいぜい 1 万円程度でリーズナブルです。今回はクタにあるホテル Novotel Lombok を紹介させていただきます。

ロンボクに所縁のあるササック人の住居のイメージをベースにコテージ全体を統一し、今にも小人たちが出てきそうなおとぎの国のイメージです。ロンボクでも少しリッチな旅をしたい方々にはぜひおすすめで、ハネムーン旅行に来ている韓國の方も結構多いようです。

コテージの多くはプライベート・プールも付いていて、個々にプライバシーを守れる空間となっており、非常に静かで、他人の目を気にしないで過ごせる絶好の隠れ家的なリゾート・ホテルです。

最近クタへの交通の便も非常に良くなってきました。ロンボク国際空港がまもなく開港で、道路の整備が急ピッチで進行中です。

また、クタの東側の海岸地域は未開発エリアが多く、ロンボク国際空港の開港にあわせてリツツ・カールトンホテルなどの高級リゾートも建設予定で、ロンボク南東海岸地域は、これからどんどん発展していくと思われます。

ロンボク海岸の土地への投機も盛んになってきており、今後ロンボクがにぎやかになり過ぎるのが少し心配です。



コテージの前に広がるビーチ



Novotel レストランの前のプール



Novotel から歩いて 10 分程度のサーフィン・エリア

★マリーン・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca のお問い合わせは shimaint@r4.dion.ne.jp へ